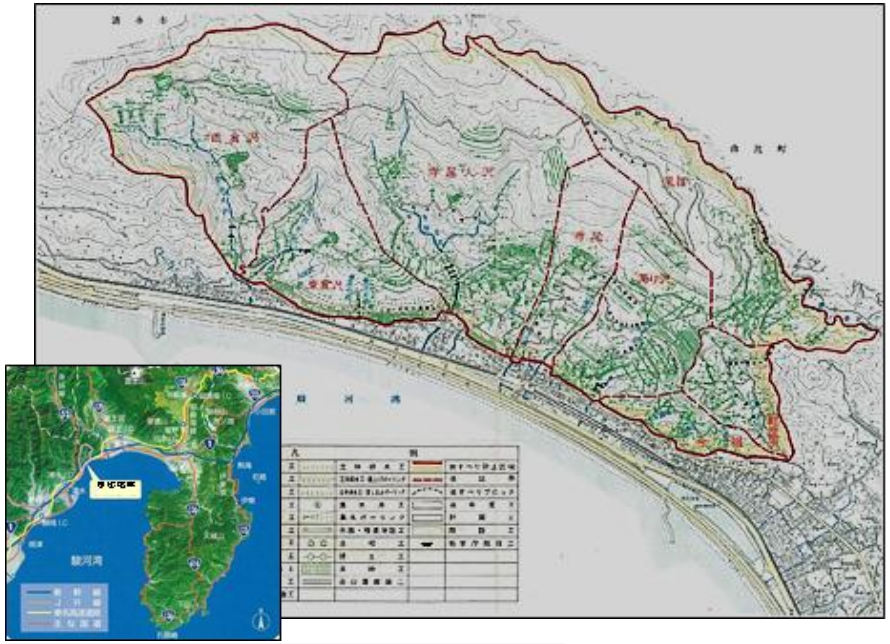
35　東海の大動脈を守る由比地すべり防止工事

静岡県（静岡市）

昭和49年７月の災害の様子

鋼管杭打工の施工
（平成7年）

現在の様子



○所在場所

静岡県静岡市清水区由比寺尾ほか

○施設、工法の概要

地すべり抑制工（集水井工、トンネル暗渠工等）、抑止工（アンカー工、杭打ち工、シャフト工等）を多様かつ大規模に施工した。

○解説

海と山に挟まれた由比地域は、限られた平坦部に住宅地が密集しているとともに、東名高速道路、国道1号線、JR東海道新幹線など我が国の東西を結ぶ主要な交通網が通っています。また、古くから地すべりの多発地域で、戦後も3回にわたり大規模な地すべり災害が発生し、これを契機に、昭和23年度から平成12年度にかけ、3次に渡る国直轄地すべり防止事業が実施されました。

大規模かつ長期間に渡り実施された工事は、あらゆる地すべり防止工法が採用され、当時の最新の技術も多く採用されています。

平成12年度に概成となった後は、施設管理や監視業務を静岡県が引き継ぎ、現在も我が国の重要な交通、通信の大動脈を地すべり災害から守り続けています。

問い合わせ先：静岡県森林保全課　TEL：054-221-2648